

経済マンスリー [アジア]

貿易と観光面でとりわけ強い ASEAN・中国の経済的結び付き

ASEAN 経済は全体として底堅く推移しているが、国毎にはばらつきがみられる。1-3 月期の実質 GDP 成長率は、フィリピン、マレーシアが堅調を維持した一方、タイは政局混迷の影響などでマイナス成長、インドネシアは減速傾向が続いた。また、ASEAN との経済関係が深い中国も中長期的に成長率を鈍化させており、その ASEAN 経済への影響も決して小さくないものと思われる。

そこで、ASEAN5 カ国と中国の経済的な結び付き度合いを貿易、観光、投資の各面から確認してみる。まず貿易面からみると、各国の中国向け輸出のシェアは 10～15% 程度（第 1 表）。特に輸出依存度が大きいマレーシア、ベトナム、タイなどで、中国向け輸出の動向が経済に与える影響が大きいとみられる。また、中国からの輸入シェアが高いベトナムを中心に、ASEAN 各国は中国からの輸入に占める中間財の割合が高く、中国のサプライチェーンに組み込まれている状況も窺われる。

次に観光面をみると、ASEAN5 カ国への中国からの訪問客数は増加傾向にある。観光収入の名目 GDP 比率が高いタイ、中国からの訪問客数の割合が高いベトナムなどでは、中国からの訪問客数の動向が経済全体へ及ぼす影響も大きいと考えられる。

なお、中国から ASEAN への直接投資は近年急拡大しているが、各国への直接投資全体に占める割合は、ストックとフローのいずれも小規模に止まっている。中国からの投資フローが減少した場合でも、経済への直接的な影響は限定的とみられる。

こうしてみると、中国・ASEAN の経済的結び付きは特に貿易取引や訪問客数などで強く、国別にはベトナムやタイなどで関係が深い様子が窺われる。

第1表: ASEAN5カ国と中国の経済的結び付き

	貿易				観光		直接投資	
	中国への輸出シェア	輸出依存度	中国からの輸入シェア	中国からの輸入に占める中間財シェア	中国からの訪問客の割合	観光収入の名目GDP比率	中国からの直接投資フローの名目GDP比率	中国からの直接投資ストックの名目GDP比率
ベトナム	10.8	77.2	25.3	68.7	25.2	6.2	0.2	1.1
タイ	11.9	73.6	15.0	56.1	17.6	10.3	0.2	0.8
マレーシア	14.8	81.7	14.9	59.6	7.0	6.6	0.1	0.3
インドネシア	11.4	23.7	15.3	56.7	8.5	1.1	0.1	0.4
フィリピン	14.2	27.9	11.3	68.0	9.1	2.0	0.1	0.2

(注)1.『貿易』のうち、『中国からの輸入に占める中間財シェア』とベトナム、インドネシアの『中国への輸出シェア』、『中国からの輸入シェア』は2012年、その他は2013年の実績。

2.『観光』のうち、『観光収入の名目GDP比率』とインドネシアの『中国からの訪問客の割合』は2012年、その他は2013年の実績。

3.『直接投資』のうち、『中国からの直接投資フローの名目GDP比率』は2010年から2012年の平均、『中国からの直接投資ストックの名目GDP比率』は2012年の実績。

(資料)経済産業研究所、世界銀行、UNCTAD、中国商務省、各国統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱東京 UFJ 銀行 経済調査室 竹島 慎吾 shingo_takeshima@mufg.jp
坂東 輝昭 teruaki_bandou@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。